

劣化したホイール・ナットは危険です！

大型車のタイヤ脱着作業時に、ホイール・ナットの点検・清掃や潤滑剤の塗布が適切に行われず劣化した状態のナットを使い続けると、ナットがしっかり締まらず十分な締結力を得られないため、走行中にナットが緩んでタイヤが脱落するおそれがあります。

この機会に劣化したナットの不具合箇所を直接確認して頂き、適切なタイヤ脱着作業や劣化したナットの適切な交換を実施して頂きますようお願いいたします。

目視で確認

劣化したホイール・ナットと新品のホイール・ナットについて、著しいさびや汚れの付着によりナットとワッシャー（座金）が固着していないか、ワッシャー（座金）が分離していないかを比較・確認してください。



ナットとワッシャーの固着



さびや汚れの付着



ナットワッシャーが分離



比較・確認



新品のホイール・ナット

手で触って確認

ホイール・ナットを点検・清掃し、ナットとワッシャー（座金）の隙間に潤滑剤を塗布し、よくなじませてから劣化したナットと新品のナットについて、ナットとワッシャー（座金）を合わせた状態で回転させ、ワッシャー（座金）にガタ付きや引っかかりがなく、スムーズに回転するかを比較・確認してください。

※必ず、ホイール・ナットの点検・清掃や潤滑剤の塗布を行ってから、ワッシャー（座金）の回転を確認してください。



ワッシャーとナットが開いた状態



ワッシャーとナットを合わせた状態



スムーズに回転



比較・確認



新品のホイール・ナット

大型車のタイヤ脱着時のホイール・ナットの適切な点検・整備

(ホイール・ナットにワッシャーが付いている場合(ISO方式)を例として図示)

車輪脱落事故を起こした車両の
ワッシャー付ホイール・ナット

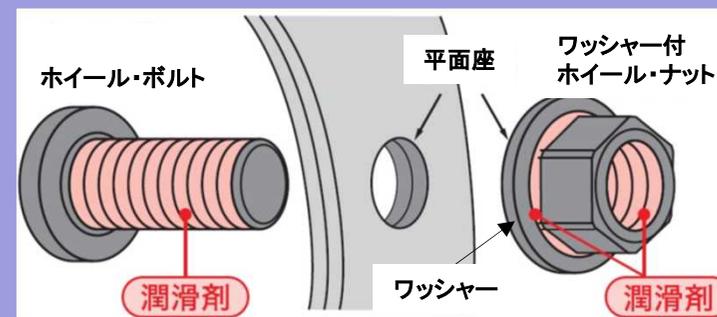


- ① 潤滑剤が塗布されていない。
(特に、ナットとワッシャーの間)
- ② ワッシャーがスムーズに回転しない。

適切な点検・整備

- ① ホイール・ボルト、ナットを清掃の上、必ず潤滑剤を塗って下さい。
- ② ①の作業を行っても、ワッシャーがスムーズに回転しない場合には、交換して下さい。

潤滑剤の塗布箇所



注意: ナットとワッシャーの間に、潤滑剤を忘れずに塗布して下さい。

ホイール・ボルト、ナットが適切に清掃されていなかったり、潤滑剤が塗布されていないとナットを締めても、十分な締付力が得られず、ナットが緩む原因となります。

そのほか、大型車のタイヤ取付時に気を付けるべき点は、「大型車の車輪脱落事故防止のための啓発用チラシ」をご確認下さい。